

2019 年 天皇杯全日本選手権

各階級展望

■オリンピック代表が内定している階級

男子グレコローマン 60kg 級／女子 53・57・62・76kg 級

■オリンピック代表枠を獲得して、代表は未定の階級

男子フリースタイル 65・74kg 級／女子 68kg 級

■オリンピック代表枠を獲得していない階級

男子フリースタイル 57・86・97・125kg 級／女子 50kg 級

男子グレコローマン 67・77・87・97・130kg 級

■オリンピックで実施されない階級

男子フリースタイル 61・70・79・92kg 級／女子 55・59・65・72kg 級

男子グレコローマン 55・63・72・82kg 級

男子グレコローマン

【55kg 級】=24 選手

《2019 年世界選手権 3 位
／2019 年全日本選抜選手権優勝》

小川翔太（日体大）

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

小野弘運（徳山大）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

小坂健太（国土舘クラブ）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

大谷康太（マルワジム横浜）

浅川亨助（北杜レスリング）

荒木瑞生（佐賀・鳥栖工高）

岡本景虎（専大）

片桐大夢（拓大）

加藤万豊（明大）

川口智弘（松阪クラブ）

齋藤僚太（法政クラブ）

榊原凌我（国土舘大）

塩谷 優（東京・自由ヶ丘学園高）

菅原幹太（東洋大）

竹田展大（WRESTLE WIN）

中川康二（大東大）

中村晟笙（帝塚山大）

星野 工（日体大）

松岡大誠（帝塚山大）

松田哲大（ファイブ☆スター）

松本健新（神奈川大）

三浦紘明（九州共立大）

山口純平（日体大）

山口秀斗（神奈川大）

世界選手権で銅メダルを取り、U23 世界選手権で優勝した小川翔太（日体大）が大きくリードの状態か。昨年、準決勝で小川を破って優勝し、今年のアジア選手権 2 位の片桐大夢（拓大）の巻き返しはあるか。

全日本選抜選手権 2 位の小野弘運（徳山大）、全日本社会人選手権優勝の竹田展大（WRESTLE-WIN）、全日本大学グレコローマン選手権 2 位の榊原凌我（国土舘大）らが殊勲を目指す。

全日本社会人選手権 3 位の資格でエントリーした川口智弘（三重・松阪クラブ）は大会時「49 歳 10 ヶ月」、同 2 位の資格でエントリーした浅川亨助（山梨・北杜クラブ）は大会時「48 歳 0 ヶ月」。第 1 回大会からの正確な記録は残っていないが、2009 年の男子フリースタイル 96kg 級に出場した湯川栄光の「47 歳 9 ヶ月」が最年長出場記録と言われており、2 人が出場すれば、それを上回る大会史上 1、2 位の最年長記録となる。

【60kg 級】=12 選手

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

鈴木絢大（日体大）

新垣将吾（福岡大）

稲葉海人（日体大）

大城達人（国土館大）

大山允長（日本空港ビルディング）

河口 清（九州共立大）

河名真偉斗（専大）

神田優人（中京学院大）

清水賢亮（拓大）

竹下航生（香川・高松北高）

藤波諒太郎（専大）

矢部和希（日体大）

全日本選抜選手権優勝でオリンピック代表に内定の文田健一郎は不出場、同 2 位の太田忍は階級を変えた。空いた座を、国体優勝の藤波諒太郎（専大）と全日本大学グレコローマン選手権優勝の矢部和希（日体大）、全日本学生選手権で藤波を破って優勝した鈴木絢大（日体大）らが狙う。

全日本大学グレコローマン選手権 2 位の清水賢亮（拓大）、全日本学生選手権 2 位の稲葉海人（日体大）、西日本学生選手権 3 連覇の神田優人（中京学院大）らも上位を狙う実力はあろう。学生選手を中心とした争いは、だれが抜け出すか。

【63kg 級】=16 選手

《2019 年全日本選抜選手権優勝》

山田義起（日体大）

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

徳比嘉一仁（日体大）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

吉川航平（秋田・秋田商高教）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

石川将樹（拓大）

池田龍斗（日体大）

岸田宝来（関大）

北岡優佑（九州共立大）

合田直記（法政クラブ）

呉屋幸也（専修クラブ）

島谷東志（大東大）

高森樹己（拓大）

長澤勇人（日体大）

丸山蒼生（日体大）

矢部晴翔（山梨・韮崎工高）

山本真聖（青山学院大）

吉永信太郎（専大）

世界選手権優勝の太田忍は階級を上げた。全日本選抜選手権優勝の山田義起（日体大）が、今大会も頂点に立てるか。同門で全日本大学グレコローマン選手権優勝の徳比嘉一仁（日体大）は沖縄県の高校時代からのライバル。“沖縄決戦”の行方は？

全日本大学グレコローマン選手権 2 位の島谷東志（大東大）、全日本選抜選手権 3 位の石川将樹（拓大）らが両者の決勝を阻止できるか。

【67kg 級】=21 選手

《2019 年世界選手権出場
／2019 年全日本選抜選手権優勝》

高橋昭五（警視庁）

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

下山田培（警視庁）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

遠藤功章（東和エンジニアリング）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

北岡佑介（自衛隊）

《2019 年世界選手権 63kg 級出場》

太田 忍（ALSOK）

井ノ口崇之（自衛隊）

岩本 巧（同志社大）

宇井大和（早大）

上垣勇二（自衛隊）

川瀬克祥（シリウス）

河名真寿斗（クリナップ）

小柴亮太（日体大）

小林大悟（拓大）

清水早伸（自衛隊）

曾我部京太郎（愛媛・今治西高）

田口学容（中京学院大）

辻 開成（法大）

堤 滋樹（日体大）

藤島雄太（拓大）

松井 涼（レスターホールディングス）

向井克典（徳山大）

63kg 級で世界選手権を制した太田忍（ALSOK）が、オリンピック出場を目指してこの階級にエントリー。4kg の差を乗り越えて優勝を勝ち取るか。2015 年に全日本学生選手権と国体で 66kg 級に出場したことはあるが、それ以上の階級は初めての闘いとなる。

この階級の日本代表を激しく争っていた今年の世界選手権代表の高橋昭五（警視庁）と昨年の世界選手権代表の下山田培（警視庁）が意地を見せるか。

昨年の国体優勝の河名真寿斗（クリナップ）、昨年の 63kg 級優勝で今年はこの階級の U23 世界選手権 5 位の遠藤功章（東和エンジニアリング）、全日本社会人選手権優勝の実績をもって 2 階級アップに挑む清水早伸（自衛隊）らが優勝争い顔を出すか。

昨年の全日本選抜選手権 3 位の川瀬克祥（シリウス）、今年の国体優勝の上垣勇二（自衛隊）、学生二冠王者（全日本学生選手権、全日本大学グレコローマン選手権）の宇井大和（早大）らが殊勲を勝ち取るか。

【72kg 級】=22 選手

《2019 年全日本選抜選手権優勝》

日下 尚 (日体大)

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

島袋慶生 (新潟・新潟県央工高教)

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

富塚拓也 (育英大)

阿部結太 (青山学院大)

大賀 遥 (神奈川大)

勝浦胤美熙 (九州共立大)

河部直樹 (中京学院大)

倉野真之介 (横浜市消防局)

小林洸介 (拓大)

近藤雅貴 (警視庁)

菅原魁一 (日本文理大)

寺田靖也 (明大クラブ)

永田克彦 (WRESTLE-WIN)

中田翔輝 (日体大)

中橋 涼 (愛媛県競技力向上対策本部)

永松 麗 (徳山大)

中村拓磨 (専大)

二尾優真 (らいふ接骨院)

北條良真 (神奈川大)

前田明都 (専大)

松居俊伍 (福井・敦賀気比高)

山本貴裕 (日体大大学院)

世界選手権代表の井上智裕は階級を上げた。全日本選抜選手権優勝の日下尚 (日体大) に、同 3 位の富塚拓也 (育英大) と島袋慶生 (新潟・新潟県央工高教) が挑む。

国体優勝の山本貴裕 (日体大大学院)、全日本学生選手権優勝の北條良真 (神奈川大)、全日本大学グレコローマン選手権優勝の前田明都 (専大) らはどう闘うか。

2000 年シドニー・オリンピック銀メダルで全国社会人オープン選手権優勝の永田克彦 (WRESTLE-WIN) が 46 歳にして 4 年ぶりに出場する。4 年前は見事に優勝。今回は？

【77kg 級】=17 選手

《2019 年世界選手権出場
／2019 年全日本選抜選手権優勝》

屋比久翔平 (ALSOK)

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

小路直頌 (自衛隊)

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

下山田周 (日体大)

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

櫻庭功大 (自衛隊)

《2019 年世界選手権 82kg 級出場》

岡嶋勇也 (警視庁)

《2019 年世界選手権 72kg 級出場》

井上智裕 (FUJIOH)

泉 武志 (一宮グループ)

一郷雄徳 (大東大)

岩崎陣也 (大東大)

小室裕大 (自衛隊)

今野港斗 (拓大)

阪部 創 (自衛隊)

花山和寛 (自衛隊)

前田祐也 (鳥取・鳥取中央育英高職)

増川和也 (中京学院大)

宮川哲也 (中大)

山田 脩 (千葉・日体大柏高)

全日本選抜選手権優勝で世界選手権代表の屋比久翔平 (ALSOK) に、72kg 級世界選手権代表の井上智裕 (FUJIOH)、82kg 級世界選手権代表の岡嶋勇也 (警視庁) が挑み、3 人の世界選手権代表 3 人がそろった。

屋比久は 7 月のオレグ・カラワエフ国際大会 (ベラルーシ) で 2 位入賞と国際舞台で結果を出した。井上は国体 77kg 級優勝と階級アップの“試運転”に成功している。岡嶋も全日本社会人選手権では 77kg 級に出場。3 位に終わったが、階級ダウンを経験した。

昨年優勝の小路直頌 (自衛隊)、同 2 位で今年の U23 世界選手権 2 位の櫻庭功大 (自衛隊) が、どんな闘いを見せるか。

全日本社会人選手権優勝の阪部創 (自衛隊)、国体 2 位の泉武志 (一宮グループ)、昨年の 82kg 級世界選手権代表の前田祐也 (鳥取・鳥取中央育英高職)、全日本社会人選手権 3 位の花山和寛 (自衛隊) は、いずれも世界選手権出場を経験している選手。世界選手権経験者が 7 人いる闘いは、だれが勝ち抜くか。

【82kg 級】=15 選手

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

向井識起（自衛隊）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

田中真男（日体大）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

川村洋史（自衛隊）

今村太陽（福岡大）

加賀谷庸一朗（和歌山県教育庁）

北川幸一（松阪クラブ）

北村公平（京都クラブ）

佐々木雄大（明大）

谷口空良（青山学院大）

林 雷（日体大）

樋口徹心（日体大）

藤井達哉（青山学院大）

前川侑介（近大）

松崎勇人（日体大）

山崎翔馬（九州共立大）

全日本選抜選手権優勝の岡嶋勇也は階級を変えた。同 2 位の向井識起（自衛隊）、同 3 位の田中真男（日体大）と川村洋史（自衛隊）の中から優勝者が生まれるか。

向井は世界ジュニア選手権と U23 世界選手権に出場して国際舞台で実力アップをはかった。父・孝博は全日本選手権優勝 8 回、1984 ロサンゼルス・1988 年ソウル両オリンピック代表選手。

全日本学生選手権 3 連覇の藤井達哉（青山学院大）がどこまで粘るか。全日本大学グレコローマン選手権 77kg 級優勝の林雷（日体大）が、東日本秋季学生選手権優勝の資格をもってこの階級にエントリー。全日本大学グレコローマン選手権 2 位の山崎翔馬（九州共立大）らとともに、上位へ食い込めるか。

【87kg 級】=12 選手

《2019 年世界選手権出場
／2019 年全日本選抜選手権優勝》
角 雅人（自衛隊）

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》
鶴田峻大（自衛隊）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》
奈須川良太（神奈川大）

市原元飛（大東大）

生形航汰（日大）

緒方竜成（自由ヶ丘学園高教）

坂野修平（TSS プロダクション）

塩川貫太（クリナップ）

田中颯人（関大）

玉岡颯斗（群馬・館林高）

堤 卓哉（銭高組）

宮本海渡（日体大）

全日本選抜選手権優勝で 3 年連続世界選手権出場の角雅人（自衛隊）と同 2 位の鶴田峻大（自衛隊）の同門対決が再現されるか。闘う度に接戦の試合の行方は？

全日本選抜選手権 3 位の奈須川良太（神奈川大）は 2 年生で全日本学生選手権 2 連覇を達成。今年だけでアジア・ジュニア選手権、世界ジュニア選手権、U23 世界選手権と国際大会を経験しており、今が伸び盛り。

全日本選抜選手権で奈須川に敗れた塩川貫太（クリナップ）は、国体 97kg 級 2 位と盛り返した。両者の牙城を崩せるか。

【97kg 級】=14 選手

《2019 年世界選手権出場
／2019 年全日本選抜選手権優勝》

奈良勇太（警視庁）

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

志喜屋正明（自衛隊）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

岡 太一（自衛隊）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

松本直毅（早大）

天野雅之（中大職）

井上諒汰（中大）

木下 駿（自衛隊OB）

佐川 健（神奈川大）

白鳥慶樹（日体大）

高橋三十郎（九州共立大）

出口滋文（日体大）

仲里優力（日体大）

饒波正眞（九州共立大）

三浦庶宏（神奈川大）

ここ数年、日本代表を争ってきた全日本選抜選手権優勝の**奈良勇太（警視庁）**と同2位の**志喜屋正明（自衛隊）**に、昨年の国体 87kg 級優勝で階級を上げた**岡太一（自衛隊）**が加わり、三者の争いの様相。

奈良は世界選手権で初白星をマークして確実な前進を見せ、志喜屋は国体で優勝して昇り調子。岡は11月のビル・ファーレル国際大会（米国）3位の勢いをもち込めるか。

全日本選抜選手権3位の**松本直毅（早大）**、全日本学生選手権優勝の**仲里優力（日体大）**ら学生選手の躍進はあるか。

【130kg 級】=11 選手

《2019 年世界選手権出場
／2019 年全日本選抜選手権優勝》

園田 新 (ALSOK)

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》
番地啓太 (国士舘大)

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》
奥村総太 (拓大)

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》
鈴木翔真 (拓大)

貝塚賢史 (山梨学院大クラブ)

河野隆太 (あづまフーズ)

庄司 樹 (専大)

谷田昇大 (和歌山県教育庁)

富米雅秀 (山梨学院大)

日坂侃生 (山口産業)

松岡太一 (日体大)

第一人者の園田新 (ALSOK) が 6 連覇を目指す。圧勝で優勝してオリンピック出場枠を取りに行きたいところ。

全日本選抜選手権 2 位で学生二冠王の番地啓太 (国士舘大) がどう闘うか。国体優勝の谷田昇大 (和歌山・和歌山県教育庁)、同 2 位の河野隆太 (三重・あづまフーズ)、JOC 杯優勝の鈴木翔真 (拓大) らの番狂わせはあるか。

男子フリースタイル

【57kg 級】=26 選手

《2019 年世界選手権出場
／2019 年全日本選抜選手権優勝》

高橋侑希 (ALSOK)

《2019 年世界選手権 61kg 級出場／
2019 年全日本選抜選手権 2 位》

山口海輝 (日体大)

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

長谷川敏裕 (日体大大学院)

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

新井陸人 (日体大)

阿部敏弥 (国土舘大)

荒木大貴 (専大)

有延大輝 (築上クラブ)

岩澤 侃 (早大)

大城一晟 (自衛隊)

金子功誠 (専大)

清岡幸太郎 (高知・高知南高)

小柳和也 (自衛隊)

佐々木風稚 (長野・上田西高)

島谷 侃 (早大)

清水優真 (マイ・スポーツ・ハウス)

諏訪間翔太郎 (拓大)

芹沢雄生 (京都・網野高)

寺田有輝 (国土舘大)

戸鳴巧貴 (福岡大)

永本竜平 (中京学院大)

服部大虎 (山梨学院大)

樋口 黎 (日体大助手)

藤田雄大 (自衛隊)

古瀬 稜 (三重・いなべ総合学園高)

山口叶汰 (神奈川大)

弓矢暖人 (三重・いなべ総合学園高)

3 年連続で世界選手権に出場し、2017 年には世界一に輝いた高橋侑希 (ALSOK) に、リオデジャネイロ・オリンピックで銀メダルを取り、階級を上げていた樋口黎 (日体大助手) が U ターン参戦して挑む。高橋の牙城を切り崩せるか。対戦成績は高橋の 2 戦 2 勝で、2 度目の対戦の 2014 年全日本選手権では、高橋が終了間際に警告勝ちしている。

61kg 級で今年の世界選手権に出場した山口海輝 (日体大) は、同級の世界ジュニア選手権で優勝するなど、1 階級上で結果を出している。11 月の全日本大学選手権の決勝は、ひざを負傷して棄権している。この回復はどうか。

2018 年 U23 世界選手権優勝の長谷川敏裕 (日体大大学院)、2018 年世界選手権 61kg 級代表の小柳和也 (自衛隊)、国体優勝の藤田雄大 (自衛隊)、学生二冠王者 (全日本学生選手権、全日本大学選手) の新井陸人 (日体大)、世界ジュニア選手権優勝の阿部敏弥 (国土舘大) らが優勝戦線に食い込めるか。

【61kg 級】=19 選手

《2019 年全日本選抜選手権優勝》

中田 陽（三重県・朝明高教）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

早山竜太郎（拓大）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

小川航大（日体大）

秋山拓未（九州共立大）

飯田 陽（法大）

伊藤 奨（早大大学院）

榊 流斗（山梨学院大）

清水蛭汰（拓大）

正保法史（岡山県協会）

但野 航（ニトリ）

田縁真大（日大）

時田隆成（中大）

永田丈治（国土館大）

早山 光（近大）

藤田 颯（埼玉・花咲徳栄高）

前田頼夢（埼玉・花咲徳栄高教）

矢後公誠（日大）

矢野富三家（ワセダクラブ）

吉村拓海（早大）

全日本選抜選手権優勝の**中田陽（三重・朝明高教）**が、地方教員の意地を見せてチャンピオンの座を守るか。全日本大学選手権で1年生王者に輝いた**榊流斗（山梨学院大）**が、どう挑むか。高校時代（JOC エリートアカデミー／東京・帝京高）にインターハイ2連覇、世界カデット選手権優勝の逸材。負傷・手術から復帰して一気に全日本の頂点を極めるか。

全日本学生選手権優勝で U23 世界選手権 3 位の**早山竜太郎（拓大）**、同 2 位の吉村拓海（早大）、負傷から復帰した昨年の 1 年生学生王者の**田縁真大（日大）**ら学生選手が、どこまで食い込めるか。

【65kg 級】=23 選手

《2019 年世界選手権 5 位
／2019 年全日本選抜選手権 2 位》

乙黒拓斗（山梨学院大）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

上野裕次郎（日体大）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

谷山拓磨（拓大）

阿部宏隆（サコス）

有元伸悟（近大職）

安楽龍馬（早大）

磯 次郎（自衛隊）

井上海星（徳山大）

上野千紘（国土館大）

鏡 隼翔（法大）

鴨居正和（自衛隊）

川野陽介（自衛隊）

逆井琉偉（日大）

佐々木虎次郎（専大）

嶋江翔也（佐賀県協会）

土屋佑斗（青山学院大）

堤 泰樹（日体大）

徳力貫太（専大）

中村倫也（博報堂 DY スポーツ）

仁木智大（中京学院大）

萩原大和（埼玉・花咲徳栄高）

松田健悟（青山学院大職）

米澤 圭（住友金属鉦山）

2018 年アジア大会 2 位の高谷大地と今年の全日本選抜選手権優勝の樋口黎は階級を変えた。世界選手権 5 位の乙黒拓斗（山梨学院大）の独壇場となるか。昨年 3 位の中村倫也（博報堂 DY スポーツ）がどこまで粘れるか。2017 年 U23 世界選手権 61kg 級優勝で、負傷で今年はまだ試合出場がないが、万全のコンディションなら、乙黒に挑む一番手と言えよう。

2018 年国体優勝の鴨居正和（自衛隊）、2018 年世界大学選手権優勝の米澤圭（住友金属鉦山）らの社会人選手、学生二冠王（全日本学生選手権、全日本大学選手権）の安楽龍馬（早大）、U23 世界選手権 2 位の谷山拓磨（拓大）らがどう挑むか。

【70kg 級】=16 選手

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

原口 伸 (国土館大)

有延天志 (築上クラブ)

伊藤朱里 (中大)

齋藤一樹 (明大)

坂野秀亮 (日大)

坂本将典 (SKレスリングアカデミー)

佐長拓未 (同志社大)

鈴木歩夢 (早大)

諏訪間新之亮 (国土館大)

高田 熙 (千葉・日体大柏高)

中村剛士 (専大)

西 海静 (日本文理大)

本名栄仁 (巻っずレスリングクラブ)

本間賢志 (日大)

丸目哲郎 (専大)

米澤 凌 (早大)

全日本選抜選手権の 1 位 (瀬野春貴) と 2 位 (志賀晃次郎) は階級を変えた。空いた座を、同 3 位の原口伸 (国土館大)、全日本学生選手権で 1 年生王者に輝いた諏訪間新之亮 (国土館大) の同門選手と全日本大学選手権 2 位の米澤凌 (早大) が争う。

JOC 杯では、米澤が諏訪間を破って優勝。全日本学生選手権の決勝は諏訪間と原口が争い、接戦の末、諏訪間の手が上がった。3 者に大きな実力差はないだろう。米澤はモンゴル・オープンや世界ジュニア選手権出場の経験を生かしたいところ。

全日本学生選手権で米澤を破った伊藤朱里 (中大)、JOC 杯 2 位の鈴木歩夢 (早大) にも上位進出の可能性を持っている。学生による優勝争いとなるか。

【74kg 級】=26 選手

《2019 年世界選手権 5 位
／2019 年全日本選抜選手権優勝》

奥井眞生（自衛隊）

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

基山仁太郎（日体大）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

三輪優翔（日体大）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

吉田隆起（拓大）

赤荻蘭丸（日大）

上野慎太郎（マイ・スポーツ・ハウス）

尾形 颯（中大）

乙黒圭祐（自衛隊）

川畑孔明（東洋大）

喜多佳佑（帝塚山大）

木下貴輪（クリナップ）

志賀晃次郎（拓大）

瀬野春貴（ゴールドキッズ）

高谷大地（自衛隊）

竹沢登喜（法大）

辻 大成（拓大）

中村百次郎（佐賀県協会）

中村優太（ゴーゴーカレーグループ）

成國大志（青山学院大）

早川耐我（徳山大）

藤波勇飛（ジャパンビバレッジ）

保坂 健（自衛隊）

水野真斗（AACC）

三木雄平（青山学院大）

森川陽斗（山梨学院大）

横山凜太郎（山梨学院大）

男女 30 階級の中で、最大の激戦階級と思われる。全日本選抜選手権優勝で世界選手権 5 位の奥井眞生（自衛隊）が、勝ってオリンピック代表を決めるか。全日本選抜選手権とプレーオフで連敗した藤波勇飛（ジャパンビバレッジ）のリベンジし、プレーオフへ持ち込むか。

他に、世界ジュニア選手権 2 位の基山仁太郎（日体大）、全日本選抜選手権 3 位の三輪優翔（日体大）と吉田隆起（拓大）、国体優勝の木下貴輪（クリナップ）、全日本社会人選手権優勝の乙黒圭祐（自衛隊）、昨年 2 位の保坂健（自衛隊）、ブランク空けで全日本学生選手権を制した成國大志（青山学院大）と、両者の争いに割って入れる可能性のある選手は目白押し。

65kg 級で 2018 年アジア大会 2 位の高谷大地（自衛隊）、70kg 級で全日本選抜選手権優勝の瀬野春貴（ゴールドキッズ）、世界選手権 7 位の志賀晃次郎（拓大）も、この階級に挑む。

【79kg 級】=11 選手

《2019 年世界選手権代表
／2019 年全日本選抜選手権優勝》
高橋夢大（京都・網野高）

赤地俊樹（アカチコーポレーション）
阿部侑太（秋田県協会）
礪川利音（国土舘大）
梅林太朗（早大）
奥井真吉（国土舘大）
竹内祐斗（徳山大）
奈良部嘉明（筑西広域消防本部）
成田竜也（秋田県協会）
宮川賢志（錢高組）
村島克哉（中大）

全日本選抜選手権で優勝し、高校生で世界選手権出場を果たした**高橋夢大（京都・網野高）**が、高校生で全日本王者に輝くか。今年は世界ジュニア選手権と U23 世界選手権にも出場し、国際舞台を数多く経験している。男子高校生の全日本王者は、1989 年の石嶋勇次（フリースタイル 52kg 級=茨城・霞ヶ浦高）以来、生まれていない。

昨年優勝の**阿部侑太（秋田県協会）**がワールドカップとアジア選手権出場の経験を生かせるか。負傷明けながら東日本学生選手権を制した**梅林太朗（早大）**が、高橋の快挙達成を阻止するか。

【86kg 級】=15 選手

《2019 年世界選手権出場
／2019 年全日本選抜選手権優勝》

高谷惣亮 (ALSOK)

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

松坂誠應 (自衛隊)

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

石黒隼士 (日大)

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

村山貴裕 (自衛隊)

浅井 翼 (茨城県競技力向上対策本部)

大山泰吾 (慶大)

北 英将 (福岡大)

白井勝太 (日大大学院)

白井達也 (日体大)

錦戸祐也 (日体大)

松雪泰成 (専大)

丸山純樹 (日体大)

八木海里 (中大)

山崎弥十朗 (早大)

山田修太郎 (山梨学院大)

全日本選抜選手権を制し、世界選手権代表の高谷惣亮 (ALSOK) が 3 階級に渡って通算 9 度目の優勝に挑む。オリンピック 3 大会連続出場を目指す選手の地力を見せられるか。

同 2 位の松坂誠應 (自衛隊)、昨年 2 位の白井勝太 (日大大学院) が高谷の牙城を崩すことができるか。国体で松坂を破って優勝し全日本大学選手権でも勝った石黒隼士 (日大) の急成長は他選手には脅威のはず。全日本学生選手権優勝の山崎弥十朗 (早大) は全日本大学グレコローマン選手権でも優勝するなど勢いがある。

全日本社会人選手権優勝の村山貴裕 (自衛隊)、JOC 杯優勝で全日本大学選手権 3 位の山田修太郎 (山梨学院大) の殊勲はあるか。

【92kg 級】=9 選手

《2019 年世界選手権出場

／2019 年全日本選抜選手権優勝》

大津拓馬（山梨学院大）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

山根光司（中大）

伊藤飛未来（日体大）

河津佑季（日本文理大）

竹内亮亘（ALSOK）

谷崎 匠（山梨学院大）

三浦哲史（京都・網野高）

山中良一（愛知・名古屋工高教）

横田裕大（立大）

全日本選抜選手権で優勝し、世界選手権に出場した**大津拓馬（山梨学院大）**が、その勢いを持ち込むか。全日本大学選手権では決勝で不覚を喫しただけに、再出発を飾りたいところ。

同 2 位で同門の**谷崎匠（山梨学院大）**が世界ジュニア選手権と U23 世界選手権出場の経験を生かしてリベンジに挑む。昨年 2 位の**山中良一（愛知・名古屋工高教）**が衰えぬ力を見せるか。

全日本学生選手権 3 位の実績で初出場を果たす**伊藤飛未来（日体大）**の父・広道は 1988 年ソウル・オリンピック 8 位入賞の選手、母・恵子（旧姓宮島）はバレーボールで 1984 年ロサンゼルス・オリンピックに出場し、銅メダルを獲得した選手。

【97kg 級】=14 選手

《2019 年世界選手権出場
／2019 年全日本選抜選手権優勝》

赤熊猶弥（自衛隊）

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

山口剛（ブシロード）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

園田平（自衛隊）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

吉田ケイワン（日大）

石黒峻士（日大）

二ノ宮寛斗（明大）

藤田祐輔（日亜化学工業）

松本篤史（警視庁）

村田 優（中京学院大）

山崎祥平（早大）

山中 彬（中大）

山本康稀（日大クラブ）

山本壮汰（拓大）

吉川裕介（自衛隊）

全日本選抜選手権優勝の赤熊猶弥（自衛隊）が、ここ数年間のライバル、山口剛（ブシロード）を退けられるか。昨年の全日本選手権、今年 of 全日本選抜選手権と赤熊が連勝。山口が巻き返すか。

2018 年に 92kg 級で世界選手権 3 位の松本篤史（警視庁）は、この階級に上げて半年以上が経った。7 月の全日本社会人選手権では優勝している。肉体改造がしっかりできていれば、優勝戦線に浮上できる可能性は十分。

全日本選抜選手権 3 位の園田平（自衛隊）、園田を破って国体で優勝し全日本大学選手権でも優勝した吉田ケイワン（日大）、全日本学生選手権優勝の石黒峻士（日大）ら、若い選手も育っていて、激しい争いが展開されそう。

【125kg 級】= 16 選手

《2019 年世界選手権代表

／2019 年全日本選抜選手権 3 位》

荒木田進謙 (athletic camp LION)

《2019 年全日本選抜選手権優勝》

山本泰輝 (自衛隊)

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

金澤勝利 (自衛隊)

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

田中哲矢 (自衛隊)

赤城玲央 (中大)

石川瑞樹 (日大)

井上 樹 (徳山大)

岩田直弥 (秋田県協会)

木村陽仁 (国土舘大)

出頭 海 (茨城・鹿島学園高)

須恵勝貴 (大阪府警)

樋口卓弥 (東大阪市役所)

武藤翔吾 (中大)

森 右秀 (中京学院大)

安田拓斗 (国土舘大)

山本泰丈 (日大クラブ)

負傷もあって世界選手権は不本意な成績に終わった**荒木田進謙 (athletic camp LION)** が盛り返すか。

全日本選抜選手権で優勝しながらプレーオフで敗れた**山本泰輝 (自衛隊)** は、国体優勝と実力をアピール。日本一奪還なるか。2 位や 3 位が多い**金澤勝利、田中哲矢 (ともに自衛隊)** が、その壁を破れるか。

女子

【50kg 級】=12 選手

《2019 年世界選手権 8 位》

入江ゆき（自衛隊）

《2019 年全日本選抜選手権優勝》

須崎優衣（早大）

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

登坂絵莉（東新住建）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

加賀田葵夏（青山学院大）

五十嵐未帆

（明光ネットワークジャパン）

伊藤 海（京都・網野高）

澤田千優（青山学院大）

清水美海（日大）

田口あい（日体大）

中村未優（SportsDesignLab）

吉元玲美那（至学館大）

米原実穂（愛知・至学館高）

昨年優勝でプレーオフの末に世界選手権代表となった入江ゆき（自衛隊）と、2017 年 48kg 級・2018 年 50kg 級で世界一に輝いた須崎優衣（早大）との激しい争いが予想される。対戦成績は須崎が 5 勝 3 敗と勝ち越しているが、須崎に土をつけた日本選手は入江だけ。

2016 年リオデジャネイロ・オリンピック優勝の登坂絵莉（東新住建）が、どの程度実力をキープしているか。2017 年 53kg 級・2018 年 50kg 級で U23 世界選手権を制した五十嵐未帆（明光ネットワークジャパン）、今年の U23 世界選手権優勝の加賀田葵夏（青山学院大）らが優勝争いに加われるか。

須崎より若い世代では、高校 2 年生でインターハイ 2 連覇ほか無敵の白星街道を続けている伊藤海（京都・網野高）が須崎の高校時代を感じさせる勢いを見せている。どこまで上位に食い込めるか注目される。

《入江ゆき - 須崎優衣の対戦成績》

【2015 年全日本選手権】	入江○ [T フォール、4:04=10-0] ●須崎
【2016 年全日本選抜選手権】	入江● [3 - 7] ○須崎
【2017 年全日本選抜選手権】	入江● [0 - 2] ○須崎
【2017 年全日本選手権】	入江○ [T フォール、5:48=10-0] ●須崎
【2018 年全日本選抜選手権】	入江● [フォール、3:37=4-1] ○須崎 ※須崎が 4 点
【2018 年世界選手権代表決定 PO】	入江● [4 - 6] ○須崎
【2019 年全日本選抜選手権】	入江● [6 - 2] ○須崎
【2019 年世界選手権代表決定 PO】	入江○ [6 - 1] ●須崎

【53kg 級】=14 選手

《2019 年世界選手権 55kg 級 2 位
／2019 年全日本選抜選手権 3 位》

入江ななみ（福井県スポーツ協会）

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

奥野春菜（至学館大）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

田村生吹（日体大）

伊藤乃愛（愛知・至学館高）

今井佑海（日大）

片岡梨乃（千葉・日体大柏高）

角谷萌々果（アイシン・エイ・ダブリュ）

小坂歩未（法大）

下野佑実（育英大）

宮原 優（博報堂 DY スポーツ）

矢後佑華（警視庁）

吉岡紗希（東洋大）

吉村涼菜（東洋大）

與那嶺優里（釘宮整形外科）

全日本選抜選手権優勝でオリンピック代表内定の向田真優は不出場。同 2 位でジュニアと U23 の世界選手権で勝った奥野春菜（至学館大）と、55kg 級の世界選手権代表決定プレーオフで奥野を破り、世界選手権 2 位の入江ななみ（福井県スポーツ協会）の闘いが再現されるか。

全日本学生選手権優勝の今井佑海（日大）がオリンピック・テスト大会と全日本女子オープン選手権でも優勝と好調。勢いをもち込めるか。昨年 2 位の宮原優（博報堂 DY スポーツ）、2018 年 U23 世界選手権優勝の角谷萌々果（アイシン・エイ・ダブリュ）、ビル・ファーレル国際大会（米国）優勝の矢後佑華（警視庁）らの優勝戦線浮上はあるか。

【55kg 級】=10 選手

《2019 年全日本選抜選手権優勝》

五十嵐彩季（至学館大）

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

東川加奈（至学館大）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

樋口 耀（日体大）

石森美月（法大）

内城朝葉（至学館大）

大橋海寛（愛知・至学館高）

櫻井つぐみ（高知・高知南高）

長谷川華子（日大）

堀 千咲（東洋大）

吉柴未彩輝（大東大）

全日本選抜選手権優勝で U23 世界選手権 2 位の五十嵐彩季（至学館大）がリードしている状態か。プレーオフで敗れて世界選手権出場を逃しただけに、あらためて日本一を勝ち取りたいところ。

同 2 位の東川加奈（至学館大）、同 3 位の樋口耀（日体大）、全日本学生選手権 2 位の堀千咲（東洋大）らが、その牙城を崩せるか。高校生ながら全日本女子オープン選手権・シニアを制した櫻井つぐみ（高知・高知南高）が優勝争いに加わるか。

【57kg 級】=8 選手

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》
南條早映（至学館大）

白池優月（早大）
太田若那（東洋大）
大谷彩歌（大阪・堺リベラル高）
澤葉菜子（至学館大）
永本聖奈（至学館大）
花井瑛絵（至学館大）
浜田千穂（キックマン）

全日本選抜選手権優勝でオリンピック代表内定の川井梨紗子は不出場。同 3 位の南條早映（至学館大）が世界ジュニア選手権、全日本学生選手権（以上 59kg 級）、U23 世界選手権と優勝を続け昇り調子。3 年ぶりの日本一を勝ち取るか。

全日本選抜選手権 4 位の花井瑛絵（至学館大）もこの階級の世界ジュニア選手権を制しており、優勝を狙う実力は十分。

2014 年 55kg 級世界チャンピオンの浜田千穂（キックマン）、2018 年世界ジュニア選手権優勝の澤葉菜子（至学館大）、今年全日本学生選手権と全日本女子オープン選手権優勝の永本聖奈（至学館大）が優勝争いに加わるか。

【59kg 級】=6 選手

《2019 年世界選手権出場》
稲垣柚香（愛知・至学館高）

今 佑海（鹿児島県体協）
杉山絢海（東農大）
舩網さら（至学館大）
八木橋万葉（環太平洋大）
吉武まひろ（長崎・島原高）

昨年優勝で今年の世界選手権に出場した稲垣柚香（愛知・至学館高）が連覇を達成するか。62kg 級でインターハイのほか、世界ジュニア選手権と U23 世界選手権も制しており、1 階級上でも通じる実力を持っている。

全日本女子オープン選手権優勝の舩網さら（至学館大）、全日本社会人選手権優勝の今佑海（鹿児島県体協）らがどこまで粘るか。

【62kg 級】=11 選手

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》
坂野結衣（警視庁）

石井亜海（東京・安部学院高）
今川朋乃伽（日体大）
入江くみ（九州共立大）
岩澤希羽（至学館大）
榎本美鈴（環太平洋大）
葛谷美瑠（日体大）
熊野ゆづる（日大）
小玉彩天奈（早大）
八木千尋（日本文理大）
屋比久すず（国士舘大）

全日本選抜選手権優勝でオリンピック代表内定の川井友香子は不出場。同 2 位の稲垣柚香も階級を下げた。同 3 位の**坂野結衣（警視庁）**がオリンピック・テスト大会優勝、ビル・ファーレル国際大会（米国）優勝の勢いで初の日本一を目指す。

65kg 級で全日本選抜選手権と U23 世界選手権を制した**榎本美鈴（環太平洋大）**が階級を下げて挑む。昨年 2 位の**熊野ゆづる（日大）**、全日本学生選手権優勝の**入江くみ（九州共立大）**、全日本女子オープン選手権優勝の**今川朋乃伽（日体大）**らが優勝戦線に浮上するか。

【65kg 級】=7 選手

《2019 年世界選手権出場》
類家直美（至学館大）
《2019 年全日本選抜選手権 2 位》
河内美樹（日体大）
《2019 年全日本選抜選手権 3 位》
河内沙樹（日体大）

今井海優（自衛隊）
木村夕貴（青山学院大）
寺本 鈴（岐阜・中京学院大附中京高）
三輪奏歩（東洋大）

全日本選抜選手権優勝の榎本美鈴は階級を変えた。昨年優勝で今年の世界選手権出場も果たした**類家直美（至学館大）**が 2 年連続日本一に輝けるか。2 月のクリッパン女子国際大会（スウェーデン）2 位、4 月のアジア選手権 2 位と、シニアの国際舞台でも通用しつつある実力をつけている。

2018 年世界ジュニア選手権優勝で、今年的全日本女子オープン選手権優勝の**今井海優（自衛隊）**が阻止できるか。全日本選抜選手権 2 位の**河内美樹（日体大）**、同 3 位の**河内沙樹（日体大）**が優勝争いに加われるか。

【68kg 級】=9 選手

《2019 年世界選手権 5 位
／2019 年全日本選抜選手権優勝》

土性沙羅（東新住建）

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

古市雅子（自衛隊）

井出ひかる（フィギュアフォークラブ）

鏡 優翔（JWA／東京・帝京高）

関 千晶（警視庁）

福島宇美（明大）

松雪成葉（至学館大）

宮道りん（日体大）

森川美和（日体大）

世界選手権 5 位でオリンピック出場枠を獲得した**土性沙羅（東新住建）**が、その権利を自分のものにできるか。優勝すればオリンピック代表に内定し、他選手が優勝すればプレーオフへもつれる。

全日本選抜選手権で土性と接戦した**古市雅子（自衛隊）**は、72kg 級で世界選手権 3 位のあと、68kg 級で U23 世界選手権優勝と好調。土性の壁を崩せるか。

昨年 72kg 級優勝で、階級を挙げて今年の U23 世界選手権 76kg 級 2 位の**鏡優翔（JOC エリートアカデミー／東京・帝京高）**が、一転してこの階級へ挑戦する。体重調整さえうまくいけば優勝の可能性もあるだろう。世界ジュニア選手権優勝の**松雪成葉（至学館大）**、同 65kg 級優勝の**森川美和（日体大）**が、世界での実績をもってどう挑むか。

【72kg 級】=3 選手

《2019 年全日本選抜選手権優勝》
進藤芽伊（日体大）

《2019 年全日本選抜選手権 2 位》

早川まい（至学館大）

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》

小林奏音（専大）

全日本選抜選手権優勝の**進藤芽伊（日体大）**が全日本学生選手権でも優勝し、秋には U23 世界選手権 3 位のあと、ワールドカップ出場の機会も得るなど主要国際舞台にも出場。これらの経験で日本一奪取なるか。

全日本選抜選手権で進藤に 1-2 の惜敗だった**早川まい（至学館大）**のリベンジなるか。同 3 位だった**小林奏音（専大）**がどう挑むか。

【76kg 級】=5 選手

《2019 年全日本選抜選手権 3 位》
松雪泰葉（至学館大）

阿部梨乃（自衛隊）

小松佑寧（法大）

齋藤未来（日本文理大）

長島水城（東京・安部学院高）

全日本選抜選手権優勝でオリンピック代表内定の皆川博恵は不出場、同 2 位の鏡優翔は階級を変えた。同 3 位の**松雪泰葉（至学館大）**が空いた座を勝ち取れるか。夏には世界ジュニア選手権 3 位、全日本学生選手権優勝などの実績を残した。

全日本女子オープン選手権優勝の**阿部梨乃（自衛隊）**は、11 月にビル・ファーレル国際大会（米国）3 位と国際大会でメダルを獲得して好調。勢いをもち込めるか。

だれが勝っても「初の日本一」という闘いを勝ち抜くのは？